



# リリースノート：AJA Mac Plug-ins for Adobe v10.1.1

## 全般

初めてAJA製品を使う場合は、インストールCD内にある「Read Me First.PDF」を必ず確認してください。AJA Mac Plug-ins for Adobe v10.1は、KONAシリーズとIo Express、Io XTへの新機能の追加と既知問題への修正が行われています。

## 動作環境

- ・ QuickTime™ 7.6以上
- ・ Mac OS X 10.7以降（64bit カーネルモードで動作している必要があります）
- ・ KONAシリーズ、Io Express、Io XT v10.1ドライバ、あるいはそれ以降
- ・ Premiere Pro CS5.5.2, AfterEffects CS5.5, Photoshop CS5.1
- ・ 推奨システム環境と設定については、下記URL（英語）を参照してください。

<http://www.aja.com/support/kona/kona-system-configuration.php>

## 改善点

- ・ KONA LHe Plusにおいて、Premiere Proを使ったアナログソースキャプチャが行えない問題を修正

## 既知の問題と制限

- ・ 新しいPremiereプロジェクトはシーケンスの設定がデフォルトに戻ってしまうため、再生品質に注意しなければなりません。AJAは最高品質での再生パフォーマンスを得るため、フル解像度での再生を推奨します。
- ・ Premiere Proのクローズドキャプション機能をオン/オフした際、アプリケーションはすぐに反応しないかも知れません。この問題を回避するには、他のアプリケーション、あるいはデスクトップをクリックすることによって一端Premiere Proを離れ、再度Premiere Proに戻って下さい。
- ・ Premiere Proにおいてクローズドキャプションデータはデスクトップには表示されません。
- ・ 非圧縮RGB QuickTimeファイルにエフェクトやトランジションは非リアルタイム処理となります。リアルタイム再生するためにはレンダリングが必要です。
- ・ KONA LHiでRGB出力する際は、Premiere Pro 1080p50/60においてソフトウェアによる色空間変換を使用する必要があります。この設定はPremiere Proの再生設定で変更出来ます。
- ・ HDMIでプログレッシブ出力を行う際は、トゥループログレッシブにセットする必要があります。多くのユーザはSDI/コンポーネント伝送のための「psf」に慣れています。AJAの1080pプロジェクトは「psf」がデフォルトとなります。Premiere Proの再生設定で'disable segmented frames'をチェックし、強制的にトゥループログレッシブに変更します。
- ・ Premiere Proのオーディオ ハードウェアセクタにはXENA ASIOドライバが表示されますが、Premiere Proでは使われません。Premiere Pro デフォルトのオーディオ装置を選択してください。この件に関する詳細な情報は、KONAマニュアルの67ページ、または Io Expressユーザーズマニュアルの82ページ（英語）を参照してください。
- ・ Io Expressを、現行までのMacBook Proで動くBootcamp上のWindowsで使用する事は奨励されません。Mac Pro上での使用は可能です。

- ・ Adobe Premiere ProからQuicktimeファイルをエクスポートする場合、AdobeのネイティブExporterを利用する必要があります。
- ・ AJAデバイスコントロールダイアログは、Premiere Proのキャプチャウインドウを閉じる前に閉じる必要があります。先にキャプチャウインドウを閉じた場合、Premiere Proがクラッシュします。
- ・ 今すぐキャプチャ時には、RS-422経由でタイムコードの記録ができません。タイムコードが必要な場合にはRP-188エンベデッドタイムコードを使用して下さい。
- ・ 一部のSony製VTRをジョグ機能でリモートコントロールする場合、正しく動作しない場合があります。
- ・ Variable Frame Rates (VFR) のプルダウン追加は、タイムコード情報に最適化しません。
- ・ 今すぐキャプチャ及びビデオにプリント時にはプルダウンフレームレートが動作しますが、インサートエディット及び、In/Outキャプチャ、バッチキャプチャでは動作しません。